

## 海岸の流木の上に置かれた石



海沿いの道ともいえないようなところを歩いてゆく。浜には流木が少し打ち上げられている。その木の上に石が乗せてあるのが目につく。流れ着いた物にこうして石を乗せておけば、「それは私が拾ったのです。」という印になる。

こうした習俗はどこにも見られる。それは全国にわたっている。石を乗せた人は誰であるかわからない。もちろん、木を失った人も分かっていないけれども、こうして石を乗せておけば、石を乗せた人以外にその流木に手をかけたり、持っていったりする者はなかった。そして、そのうち拾った人が持ってゆくことであろう。（「私の日本地図7 佐渡」著者 宮本常一 同友館）

日本を代表する民俗学者の一人である宮本常一<sup>つねいち</sup>さんが佐渡島（新潟県）の海沿いの道を歩いている時に撮影された写真です。

海岸の流木の上に置かれた石、そこには、日本に伝えられている助け合いの精神を読み解くことができます。生徒たちに、物を大切に作る心など、規範意識をしっかりと育みたいと思います。



## 卒業証書の割印を省略します。

卒業証書の割印（証書の右上）については、これまで慣例として行ってきましたが、教育委員会からの通知のとおり、本年度から省略することとしますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

なお、卒業証書については、今後とも慎重を期し卒業台帳との照合も確実に実施いたします。

平成22年1月28日

### 卒業証書等の割印の取扱いについて（通知）

広島市教育委員会学事課長

卒業証書等の作成にあたっては、下記の理由により、割印をする必要はありませんので、これに沿って取り扱っていただきますよう通知します。実施に当たっては、平成22年3月卒業者から適用してください。

#### 記

- 1 本市教育委員会が平成14年2月6日付けで定めた修了証書及び卒業証書の様式に割印の表記がないこと。
- 2 学校事務指導票の規定において、卒業証書の作成に当たっては「台帳と証書を照合し、確認する」と、「学校長印を押す」と記載されているが、割印については記載されていないこと。

## 第3回部活対抗駅伝大会 H22.2.20

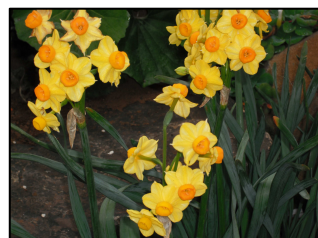
|      |    |         |           |
|------|----|---------|-----------|
| 男子の部 | 優勝 | 陸上競技部A  | 記録34' 54" |
|      | 2位 | 陸上競技部B  | 記録37' 20" |
|      | 3位 | 陸上競技部C  | 記録39' 06" |
| 女子の部 | 優勝 | 陸上競技部A  | 記録44' 03" |
|      | 2位 | 陸上競技部B  | 記録46' 45" |
|      | 3位 | バスケット部A | 記録48' 08" |



## 2年生修学旅行 2月8日(月)～10日(水)

今年度から2年生での修学旅行を開始し、内容も長崎での民泊、農業や漁業等の体験を中心としたものとなりました。

厳冬期の二月ということで、当初心配していた天候にも恵まれ、春のような暖かさの中、総数92の「ほんなもん体験」の中から自分の希望した活動を十分に満喫しました。松浦の地域の方々が温かく迎えてくださり、親切に接してくださったおかげで、生徒は様々な経験をし、仲間との思い出もいっぱいできました。



### 修学旅行に行って (女子)

この三日間でいろんなことを体験したり、見たり、聞いたりすることができて、とても勉強になりました。特に印象に残ったことは民泊の方とのふれあいです。行く前は、絶対に楽しくなさそうと思っていたけど、実際に行ってみると、すごく親切に出迎えてくださって、とても楽しかったです。その中でも夕飯の準備をしたことや家の方と話をしたことがとてもいい思い出になりました。

体験場所以外にも製氷工場や教会や日本最西端の地などいろんなところに連れて行ってくれて、私はAさんの家に選ばれて良かったなあと思いました。

ほんなもん体験では、港釣りをしました。私は釣りをするのは初めてで、いい体験になりました。えさの付け方もインストラクターの方がいていねいに教えてくださり、よくわかりました。ですが、結果はメバルの小さいのが一匹しか釣れなくて残念でした。

二つ目の体験は酪農体験で、チーズ作りをしました。初めて、あんなに近くで牛を見て、すごい迫力でした。チーズ作りでは、長い時間をかけて作って完成したチーズは、とてもおいしくて、楽しかったです。

三つ目の体験は、魚のおろし方でした。初めて魚をさばきました。けど、すごく身があまってしまい

ました。けど、その魚などで作ったフライや天ぷらはすごくおいしくて、感動しました。

私はこの体験などを通していろんな人とふれあう大切さと時間を守るという大切さを学ぶことができました。この体験でいろんなことを知ることができてよかったです。



### 修学旅行 (男子)

今回の修学旅行は、僕たちの代から長崎になったので、かなりのブーイングがあり、僕もちょっと嫌だと思っていました。でも、長崎に行って、実際にその場でさまざまな体験をして夢中になり、とても楽しかったです。

そして、民泊先では、B家の皆様にとっても優しく接していただいて、とても充実した生活ができました。一緒に作った晩御飯もとてもいい思い出です。特に心に残った体験はシーカヤックで、最初はパドルの使い方を習い、できるかなとドキドキしていましたが、いざ、大海原へ出たとき、海に浮いている感じと塩のにおいでとてもテンションが上がりました。その後の港釣りでは、魚がまったく釣れず、残念でした。

最後にこの修学旅行で人とふれあう温かさと体験を通しての友情がとても深まりました。とてもいい修学旅行になりました。

### 修学旅行 (女子)

修学旅行に行く前、ずっと行きたくありませんでした。シーカヤックも乗りたくなかったし、知らない人の家に泊まるなんて、絶対にいやでした。ですが、Cさんに会って、とてもやさしそうな人で、新車で迎えに来てくれました。家に着くと、大きな家で広々としていました。最初は何をしたらいいかわからなかった、何を話したらいいのかわかりませんでしたが、C家の人達はみんなやさしくて、話しやすく、とても快適に過ごすことができました。

長崎ちゃんぽん作りは楽しかったです。すごくおいしかったです、その後のお弁当が多くておなかがいっぱいになりました。

シーカヤックは、ずっといやだと思っていたのに、思ったより暖かくてすごく楽しかったです。調子に乗りすぎてビショビショになったけど、また乗りたいなと思いました。

最後の日のそば打ちは、初めてだったけど、おいしく作れてよかったです。

二日目の夜には、イタリア料理を作ってもらいました。カルボナーラやガーリックトーストなど、その中でもティラミスが一番おいしかったです。そして、写真をたくさん撮りました。

三日間いろいろなことがあったけど、楽しく過ごせたのは、C家の皆さんのおかげだと思います。私はC家で本当によかったと思います。

この体験を通して、いろいろな人とふれあい、たくさんのものを見て、今後に生かしていけるたくさんの方のことを学びました。とても楽しい修学旅行でした。